

# 地域医療連携だより

H30.4  
第42号



**兵庫医科大学病院**

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号  
TEL.0798-45-6111(大代表)  
<http://www.hosp.hyo-med.ac.jp>



## 医療支援センターの一年を振り返って

医療支援センター長（副院長） 芳川 浩 男



平素は当院の運営ならびに地域連携につきまして格別のご協力、ご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

医療支援センターが開設されて1年経ちました。お陰様で、「大変便利になった」との評価をいただいています。従来の「地域医療・総合相談センター」、「入退院管理室」、「医療社会福祉部」が1号館1階中央に集結した結果、患者さんの外来受診、入院支援、退院（転院）調整、在宅ケア（訪問看護）対応にいたるまで、切れ目のないサービスを提供できるように、医師・看護師・ソーシャルワーカー・事務職員などの多職種が参画し、院内はもちろん、地域の医療機関や保健所、行政、福祉などとの連携を密にし、患者さんに多面的な支援を行えるようになりました。

また、当センターは、特定機能病院、すなわち高度先進医療・急性期医療やがん診療連携拠点病院として、地域の医療機関との連携を推進する役割も担っています。近年、病院・病床の機能分化がより明瞭になり、病態に即した医療の提供のため、益々、医療機関の診療連携は重要になってきています。すでに多数の医療機関に入会していただいている「武庫川クラブ」（兵庫医科大学病院の登録医制度）と「h-Anshin むこねっと」はこの診療連携の両輪です。本年4月の診療報酬改定においても、医療・介護・福祉事業者間で切れ目のない連携や認知症に係る連携、がん患者就労の支援などが評価されています。

今後とも、新しく生まれ変わった「医療支援センター」を通じて、地域の先生方と病診・病病連携の更なる強化を図り、患者さんへのサービス向上に努めてまいります。ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

## 泌尿器癌の治療戦略

泌尿器科 主任教授 山本 新吾  
放射線科 主任教授 山門 亨一郎  
教授 上紺屋 憲彦

### はじめに

泌尿器癌には腎癌、膀胱癌、前立腺癌、精巣癌などがあります。兵庫医科大学病院では、いずれの癌種についても、手術、局所療法、化学療法、などのあらゆる治療モダリティを提供することができ、患者さんの状態やニーズにあわせた低侵襲なオーダーメイド治療が可能です。ここでは、前立腺癌と腎癌にフォーカスを当て、泌尿器科と放射線科により行われている最先端のチーム医療を紹介します。

### 前立腺癌

1) ロボット支援下根治的前立腺摘除術 (Robot-assisted laparoscopic prostatectomy : RALP)  
一般には、遠隔転移がない前立腺限局癌 (病期 A・B) は、RALP のよい適用とされています。腹腔鏡用のポートからロボット鉗子を挿入し、術者はコンソールという少し離れたところからロボット鉗子を操作しながら、前立腺を摘除して膀胱と尿道を縫合します。このロボット手術の導入により、従来の開腹手術または腹腔鏡手術に比較して、圧倒的に出血量が少なく、手術時間も飛躍的に短縮され、もっとも辛い術後合併症であった腹圧性尿失禁もほぼ見られなくなりました。通常は前立腺の両側にある勃起神経と一緒に切除しますが、早期がんでは温存することも可能です。やむなく勃起神経切除が必要な症例には、神経再生誘導チューブを使った神経再生 (保険適応) も行っています。兵庫医科学病院では、7人のコンソール術者がロボット手術を執刀していますが、2018年3月現在で260例を超える患者さんがRALPを受けられました。

### 2) 外照射放射線療法

前立腺癌は放射線治療が非常に有効な疾患で、手術では治療困難な前立腺周囲や精嚢へ広がっている場合にも治療を行うことができます。強度変調放射線治療 (Intensity Modulated Radiation Therapy : IMRT) を用いて、周囲の正常臓器への線量を少なくし、前立腺に高線量を照射することが可能です。特に前立腺がんへの治療の効果は手術と同等で、副作用のリスクも低いです。身体を傷つけることなく切らずに治療を行うことで、性機能や尿失禁などの機能障害リスクを抑え、治療後の生活の質 (Quality of Life : QOL) を高く保てる可能性があります。1回の治療時間も短く、通院だけで治療が可能のため、患者さんの精神的・肉体的負担が少なく、仕事帰りに治療を受けるなど、生活を保ちながら治療を行うことも可能です。兵庫医科大学病院では関西で最も早くVMAT (回転型IMRT) による治療を開始し、年間100例以上の治療を実施しております。

### 腎癌

#### 1) ロボット支援下腎部分切除術

転移を伴わない腎癌の治療は外科的切除が基本です。以前は根治的腎摘除術によって患側の腎臓をすべて摘除することが一般的でしたが、現在では直径4cm以下の小さな腎癌に対しては腫瘍のみを切除する腎部分切除術を施行し、患側の腎機能を温存することが一般的です。兵庫医科大学病院では2002年から腹腔鏡下根治的腎摘除術、2006年から腹腔鏡下腎部分切除術、2014年からロボット支援下腎部分切除術を導入しています。ロボット支援下腎部分切除術では、3D画像による良好な視野と自由な操作性により、従来腹腔鏡手術では困難であった症例も、より安全により短い阻血時間で切除することができ、良好な術後腎機能が期待できます。2018年3月現在で30例以上の患者さんがロボット支援下腎部分切除術を受けられました。

## 2) ラジオ波焼灼術

腎癌治療の原則は手術ですが、高齢で全身麻酔や手術のリスクが高く、腹腔鏡下手術すら困難な症例の場合、兵庫医科大学病院ではラジオ波焼灼術を行っています。ラジオ波焼灼術は、腎癌瘍に治療用針を直接穿刺して壊死させてしまう治療法です。穿刺した針から電磁波を出して腫瘍の温度を50℃以上に上昇させることで腎癌の壊死が得られます。電磁波で温度を上昇させるという原理は電子レンジと同じです。ラジオ波焼灼術の利点は、全身麻酔や手術のリスクが高い患者さんに対してもQOLを損なうことなく治療を行うことができ、しかも腎機能温存にも優れる点です。手術で透析導入のリスクが高い症例にも有効です。入院期間も平均4～5日程度と短期間で済みます。

### おわりに

手術支援ロボットやIMRTまたはラジオ波焼灼術などの新しいテクノロジーにより、高精度な低侵襲治療ができることは事実です。しかし、これら最新鋭機器を扱うのは医師や技師である人間であるため、合併症の少ない安全でより良い治療を行うためにはかなりの経験値が必要です。兵庫医科大学病院では、早い時期から患者さんの安全を第一にこれらの最先端技術を慎重に導入し、県内の他施設を超える経験を積むことにより、現在では他府県からも多くの患者さんをご紹介いただけるまでになりました。今後も、洗練されたチーム医療をとおして、良質なオーダーメイド医療をご提供できるよう精進してまいります。対象の患者さんがいらっしゃいましたら、まずは泌尿器科外来にご紹介ください。



兵庫医科大学病院泌尿器科 手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」認定資格取得メンバー  
「私たちが責任をもって安全な高度先進低侵襲手術を提供します」



兵庫医科大学病院放射線科  
「ラジオ波焼灼術施行中の風景」



兵庫医科大学病院放射線科 放射線治療メンバー  
「高精度放射線治療を提供します」

## 平成30年4月1日付人事異動のお知らせ

下記診療科につきまして、平成30年3月31日付で診療部長が退職いたしました。  
つきましては、新たな診療部長を以下のとおりとしましたのでお知らせいたします。

診療科名	役職	氏名
血液内科	診療部長	藤 盛 好 啓 (輸血・細胞治療センター長兼任)
リウマチ・膠原病内科	診療部長	松 井 聖
腎・透析内科	診療部長	倉賀野 隆 裕 (血液浄化センター長兼任)
心臓血管外科	診療部長	光 野 正 孝

また、下記診療科につきまして、平成30年4月1日付で新たな診療部長が着任いたしましたのでお知らせいたします。

診療科名	役職	氏名
救急科	診療部長	平 田 淳 一 (救命救急センター長、熱傷センター長兼任)

## 開催報告：第14回病診・病病連携の会

平成30年2月3日(土)午後4時から、尼崎市内の都ホテルニューアルカイクにおいて、尼崎市医師会と当院との共催で病診・病病連携の会を開催いたしました。はじめに、尼崎市医師会の黒田佳治会長にご挨拶をいただき、「サルコペニアと骨粗鬆症」をテーマに、3名の医師が講演しました。尼崎市医師会から32名、当院8名を加えた計40名が出席し、連携の会、懇親会とも盛会のうちに終えることができました。本会の開催にあたり、ご尽力賜りました尼崎市医師会様のご厚情に深謝し、ここにご報告申し上げます。

- 講演1** 「日常診療でのフレイル、サルコペニア診断とその管理」 兵庫医科大学病院 総合内科 主任教授 新村 健  
**講演2** 「骨粗鬆症性椎体骨折と腰痛」 兵庫医科大学病院 整形外科 講師 圓尾 圭史  
**講演3** 「ロコモ対策で寝たきり予防」 わたや整形外科 院長 綿谷 茂樹

### 兵庫医科大学病院からのお知らせ

## 健康医学クリニック・人間ドック予約受付中

兵庫医科大学病院や関連病院と連携し、早期に対応する体制を整えており、高度先進医療と予防医学の拠点を目指しております。

また、午前中終了コースや土曜日開院、レディース・デイの設定、脳ドック・各種がん検診・PET/CTなどの多彩なオプションも取り揃えておりますので、ぜひご利用ください。

お問い合わせ先：健康医学クリニック 0120-682-701 (直通)  
専用ホームページ <http://www.hyo-med-kenshin.com/>



## 救急ホットライン

医療関係者専用の各科医師への直通電話です。24時間365日、交換手を通さず、各科医師に直接かかります。緊急症例、診療のご相談など何でもお気軽にお電話ください。

☎ 全ての重症疾患もしくは受け入れ先に迷ったら・・・

**0798-45-6812**(救急科医師)

循環器疾患と思ったら

**080-2475-7380**(循環器内科・冠疾患内科医師)

脳疾患と思ったら

**080-2529-8239**(脳神経外科医師)

画像転送用アドレス：hyougo.nougeka@gmail.com